

## 2022年度 拡大研修室 拡大研修委員会 方針（案）

委員長／田村 修吾 副委員長／村井 太一 委員会幹事／昆 宏也 由利 里美

委員長 田村 修吾

1 函館青年会議所は、明るい豊かな社会の実現を目指すという志のもと、会員拡大により  
2 新たな価値観を取り入れ、人財育成に注力し活動を続けてまいりましたが、時代の変化も  
3 あって会員数は減少傾向にあり、組織の弱体化が懸念されています。いつの時代にあつて  
4 も、組織の発展には、新しい発想の取得と人財の成長が必要不可欠であり、その上で、志  
5 を高くもつ人財の拡大と活動を通じた会員の資質向上による組織力の強化が必要です。

6 まずは、志を同じくする多数の会員による活気ある組織にするために、会員の人脈を活  
7 かした情報収集と青年会議所の各種SNSを利用した勧誘活動を進めるとともに、拡大の  
8 重要性を会員間で共有することで、会員拡大を図ります。そして、新入会員とともに円滑  
9 な活動を進めていくために、新入会員が自らの考えや個性を発揮する機会を設け、興味や  
10 共感をもってもらうことで、現会員との交流を深める契機とします。さらに、青年会議所  
11 運動の中核を担っていただくために、青年会議所運動の歴史や理念を学び、現会員と交流  
12 を図りながら課題に協力して取り組むことで、JAYCEEとして能動的に活動する意識  
13 を醸成します。また、会員の考えと行動をより高次に導くために、新入会員と現会員が個々  
14 の得意な能力を発揮しながら互いを尊重し、達成感を得ることで、仲間と一つの目標に向  
15 かって団結することの大切さを実感してもらいます。そして、組織力向上のために、卒業  
16 生の青年会議所での歩みと功績を盛大に讃えるとともに、卒業生にはこれまでの経験を現  
17 会員に伝えていただくことで、次代を担うJAYCEEとしての責任感の醸成と志を継承  
18 します。

19 青年会議所運動の意義に共鳴した会員は、仲間との交流と自己研鑽により、青年会議所  
20 活動に誇りと自信をもち、地域の課題解決に向けた仲間との能動的な活動を通じて組織力  
21 強化の当事者となり、函館青年会議所は、より地域から必要とされる組織となります。

### 22 事業計画

- 24 1. 新入会員の拡大
- 25 2. 3分間スピーチ
- 26 3. 第1回オリエンテーション
- 27 4. 5月例会（道南エリアスポーツ大会）の運営
- 28 5. 第2回オリエンテーション
- 29 6. 12月例会（卒業式）の運営
- 30 7. 各会員及び出向者への協力
- 31 8. 各種大会・会議への参加

### 32 年間事業フレーム